

ふくいの県産品マッチング機会創出支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体		(公財) ふくい産業支援センター			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [II 成長を創る(産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]			関連する県の計画等			[ふくいNEW経済ビジョン ふくい創生・人口減少対策戦略]				
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線開業に伴い、県産品を通して、福井県の魅力を首都圏をはじめとする県外に広く発信していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 商業動態統計 2021年商業販売額(経済産業省) 商業販売額 551兆9,100億円(前年比 6.0%) 【内訳】卸売業 401兆4,480億円 (前年比 7.7%) 小売業150兆4,620億円(前年比 1.9%)						
[事業目的] 北陸新幹線の福井・敦賀間開業を契機に、食品や生活雑貨等の県産品を製造する県内中小事業者は、販売先や商談機会のさらなる拡大に向けて、新たな販売先や商談機会を求めているため、県内事業者と県内外の流通業者等のマッチング機会を創出することで販路拡大を支援する。												
[事業内容] (1) 展示会への出展支援(年2回)(8,385千円(企業負担あり)) ①スーパーマーケット・トレードショー(2月) 支援企業:6社 企業負担:11万円(1回目) 13.2万円(2回目) 16.5万円(3回目以降) ②東京インターナショナルギフト・ショー LIFE×DESIGN展(9月) 支援企業:12社 企業負担:16.5万円 ※初出展単価 (2) 個別商談会の開催(年3回)(452千円) ・百貨店等の県外流通業者とのWEB商談会を開催 支援企業:90社(30社×3回)												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 108社						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいの食品戦略的販路拡大支援事業 (実績) ・3年間で240社支援				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		・事業者への当該事業の募集案内の広報を依頼				他県の状況		・岐阜県、長野県、和歌山県などにおいて、首都圏での大規模展示会への出展支援事業を行っている。 ・石川県において、県内の小売店バイヤーが来場する展示会、首都圏の食品バイヤーを招聘した商談会の同時開催				

ふくいの県産品マッチング機会創出支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男		
事業主体	(公財) ふくい産業支援センター				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金					<input type="checkbox"/> その他
補助率	県10/10							<input type="checkbox"/> その他					<input type="checkbox"/> その他
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	8,837	4,418			4,419	デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ)							
[予算額の推移等] (単位: 千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			9,259	9,259	8,672	8,837	「東京インターナショナル ギフト・ショー LIFE×DESIGN展」に出展するにあたり、ブースデザインや企業へのセミナー料を新規計上 テストマーケティングへの旅費支援事業の廃止						
2月現計予算額の推移			9,259	9,259	8,672								
決算額の推移			8,078	7,654									
前年度までの 主な増減理由	令和5年度：広報用印刷物の発行枚数の見直しによる縮減および展示会の出展支援における事業者負担の見直し調整												
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	商談成立事業者数 (目標)		(50)	(50)	(50)	(50)	(200)	(300)	前事業「ふくいの食品戦略的販路拡大支援事業」の成立平均企業数20社 +増加分30社				
	実績		27	33									
活動指標	支援事業者数 (目標)		(114)	(114)	(114)	(108)	(450)	(666)	6年間で666事業者支援 (R3~R5: 114件、R6~R8: 108件)				
	実績		59	70	87								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
令和4年度 商談成立件数 96件 令和5年度2月末現在 支援事業者数 87社 令和5年度の商談成立件数は現在調査中。支援事業者数が昨年よりも17社増加しているため、商談成立件数も増加するとの見込み。				9月の東京インターナショナル ギフト・ショーにおいて、LIFE×DESIGN展に出展およびテストマーケティングへの旅費支援事業を廃止することにより事業内容をリニューアルし、事業を継続				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

福井県ビジネス支援センター運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費・標準外経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H14 年度 経過年数 23 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[ふくいNEW経済ビジョン FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]						
[解決すべき問題・課題] 県内中小企業単体では首都圏での販路開拓や情報発信が困難である。アンテナショップによって情報発信やメディア等の媒体を活用したPR活動を実施することにより、首都圏に向けて福井県産品および福井県のイメージの普及、向上を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 商業動態統計 2021年商業販売額(経済産業省) 商業販売額 551兆9,100億円(前年比 6.0%) 【内訳】卸売業 401兆4,480億円(前年比 7.7%)、小売業 150兆4,620億円(前年比 1.9%)						
[事業目的] 東京南青山の県有地に民間事業者が建設する建物を借り受け、南青山拠点において、県内企業の新たなビジネス展開支援と食によるブランド発信拠点として事業展開するとともに、銀座に立地する民間事業者が所有する建物を借り受け、銀座拠点において、本県の魅力ある県産品や観光移住情報発信等を行う。												
[事業内容] (1) 県有地の貸付と建物の借受 東急不動産(株)に対し、東京・南青山の県有地を事業用借地権により貸し付け、当該地に東急不動産が建設する建物の一部をビジネス支援拠点施設として借り受ける。 ①土地 面積：1996.70㎡ 契約期間：令和3年10月16日～令和15年3月31日 ②建物 面積：998.41㎡ 契約期間：令和3年8月16日～令和14年9月30日 (2) 銀座拠点における建物の借受 面積：367.16㎡ 契約期間：令和4年2月1日～令和14年9月30日 (3) 福井県ビジネス支援センター運営業務の委託 (4) 首都圏 販路開拓・情報発信アドバイザーの雇用 北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、首都圏における本県の物産、観光等の販路拡大や情報発信を強化するため、首都圏のメディアや経済人に幅広いネットワークを有する職員をアドバイザーに委嘱する。												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 約300社						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	市町と連携したフェアの開催 (H29 福井市、小浜市、大野市、永平寺町、越前市) (H30 鯖江市、勝山市、敦賀市、池田町、越前町、坂井市) (R1 小浜市、越前町、若狭町、おおい町、高浜町) (R2 福井市、小浜市) (R3 越前市) (R5 坂井市)					他県の状況	本県を含めて35道県が首都圏においてアンテナショップを運営					

福井県ビジネス支援センター運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費・標準外経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男								
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	H14 年度 経過年数 23 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度							
事業実施方法	委託																		
補助率	—																		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等												
予算額	376,569			(財) (諸) 254,103	122,466	(財産運用収入) 128,670千円、(諸収入) 125,433千円													
[予算額の推移等] (単位：千円)																			
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由													
当初予算額の推移	253,004	250,474	337,495	376,212	376,569	会計年度任用職員の給与増と勤労手当の支給予定に伴う、首都圏販路開拓・情報発信アドバイザーへの報酬額の増加													
2月現計予算額の推移	256,645	250,474	337,495	376,212															
決算額の推移	256,525	235,435	332,224																
前年度までの 主な増減理由	R 1：消費税増税に伴う建物賃料および運営委託費の増加、「食の國 福井館」の家賃引き上げと契約更新に伴う諸経費 R 2：修繕費の増加 R 3：修繕費の減少 R 4：リニューアルに伴う銀座拠点の建物借受費の増加 R 5：アンテナショップのリニューアル完了により、年間通しでの運営開始に伴う委託料の増加																		
[成果指標等の推移]																			
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠											
成果指標	売上額(千円)	(目標) (234,770) (実績) 191,936	(167,648) 221,301	(167,684) 233,873	(320,000)	(320,000)	(320,000)	(320,000)	運営事業者の目標数値(～R3年度) 新店舗売上目標320,000千円(R4年度～)										
活動指標	来館者数(人)	(目標) (449,000) (実績) 250,574	(485,000) 289,664	(160,000) 126,038	(530,000)	(530,000)	(530,000)	(530,000)				運営事業者の目標数値(～R3年度) 新店舗来館者目標53万人(R4年度～)							
[事業の評価]																			
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価											
リニューアルオープン後、県内事業者を招いての販売会等を積極的に行い、売上目標320,000千円について12月時点で達成				新幹線時代の首都圏におけるPR拠点として、銀座・南青山両拠点それぞれの機能を活かし、引き続き県産品の販路拡大・商品開発支援の拡大を図る。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額								
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了									
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他									

県産品の商品開発・291によるセレクト事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託、直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[ふくいNEW経済ビジョン FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]						
[解決すべき問題・課題] 新幹線開業に伴う県産品の認知度向上、販路拡大						[問題・課題を表す客観的データ] 令和3年 経済センサス 製造品出荷額等(従業員4人以上の事業所) 絹・人絹織物 2兆3,099億円(前年比 ▲26%) 洋紙・和紙・ふすま紙 2,342億円 (前年比 ▲21%)、漆器 4,760億円(前年比 ▲26%)						
[事業目的] ふくい南青山291において県内の企業・グループ等が商品開発にチャレンジし、ブランドとして育て、売り上げ拡大につなげるため、首都圏のクリエイター等を活用し、デザインの力を取り入れた商品開発を支援するとともに、291として商品をセレクトし、首都圏での販売力を活かして県内事業者の成長を図る												
[事業内容] (1) 新商品開発支援 ・首都圏の事業者と県内の事業者が協働し、首都圏に向けた販路拡大を目指す商品開発を支援 ・商品開発を目指す事業者に対しセミナー・ワークショップを開催し、商品開発を促進 (2) 291による商品セレクト・ブラッシュアップ ・首都圏に向けた販路拡大が見込め、福井の魅力を発信できる商品を、291セレクト商品として選定 (3) 291セレクト商品の販路開拓支援 ・首都圏の大型商業施設等で実施する「福井フェア」特設ブースを通して販売とPR ・スーパー・百貨店等でのフェア開催および県産品のテスト販売支援 ・都内セレクトショップと連携したインバウンド観光客への販売及び誘客支援												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 約300社						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

県産品の商品開発・291によるセレクト事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男				
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R8 年度	
事業実施方法	委託、直営											経過年数			2 年
補助率	—														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	130,838					130,838									
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					110,258	130,838	首都圏スーパー・百貨店等での福井フェア開催および県産品のテスト販売支援事業について、対象店舗の拡大等による予算増額								
2月現計予算額の推移					125,840										
決算額の推移															
前年度までの主な増減理由	令和5年度：2月補正予算において都内セレクトショップと連携したインバウンド観光客への販売および誘客支援の事業費を追加（国経済対策による前倒し）														
[成果指標等の推移]															
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	開発された新商品 (目標) 実績				(70) 70	(70)	(70)	(70)	年間70件の新商品開発を支援						
活動指標	商品開発促進イベント実施回数(回) (目標) 実績				(3) 3	(6)	(6)	(6)				商品開発を促進するためのワークショップ・セミナーを年間6回以上開催			
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
首都圏のクリエイター等と連携した商品開発支援件数：70件 首都圏のクリエイター等と県内事業者のマッチングやイベント等の実施により、成果指標を目標どおり達成				・都内のインバウンド向けセレクトショップ内に、福井の食や伝統工芸を紹介し、誘客につなげる「福井ショールーム」を設置し、インバウンド向け旅行者や外資系ホテルのコンシェルジュ等をショップに誘致することで、県内の産地や事業者と連携した産業観光の拡大につなげる。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

おもてなし産業魅力向上支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体		(公財) ふくい産業支援センター			事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [III 楽しみを広げる(創造力)]	政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]		関連する県の計画等		ふくいNEW経済ビジョン、ふくい創生・人口減少対策戦 略、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～、ふく い観光ビジョン					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業を機に、多くの観光客やビジネス客が訪れるなか で、新幹線駅周辺を始めとする市街地や観光地の店舗等の受入れ態勢を強化し、 観光客がより長く滞在し、満足度を高めていく必要がある						[問題・課題を表す客観的データ] 【現状・課題】食・体験・学びを重点に新たなコンテンツ開発が必要 【取組みの方向性】体験プログラムの充実や食・体験・学びのツーリズム開発 ふくい観光ビジョン						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業を機に、多くの観光客やビジネス客が訪れるなか、駅周辺市街地や観光拠点周辺の店舗等における店舗改装・設備導入、体験・見学施設の 整備・拡充について、重点的に支援する。												
[事業内容] 飲食店や宿泊施設、体験・見学施設などの店舗改装・設備導入を支援 対象：食品・工芸品等製造事業者、飲食店、土産品店、宿泊施設 県補助率：2/3 [補助上限：3,000千円] 対象数：20事業者												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 20社						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 おもてなし商業エリア創出事業 (実績) ・ハード事業採択エリア 8市町 改修した個店では、売上増、来客数増が見られた。 ・ソフト事業採択エリア 5市 採択したエリアの歩行者通行量の増加が見られた。				関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

おもてなし産業魅力向上支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	(公財) ふうい産業支援センター				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H30 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	補助金											
補助率	10/10											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	60,243					60,243						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		80,373	70,373	57,373	60,310	60,243	採択事業の審査会の回数減のため(令和5年度 2回→令和6年度 1回)					
2月現計予算額の推移		78,711	66,882	56,984	58,377							
決算額の推移		78,656	66,500									
前年度までの主な増減理由		令和4年度：商品開発支援メニューを廃止したため事業費が減少 令和5年度：応募事業者数が多かったことから、支援枠数を増加										
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	店舗改装等による売上額伸び率	(目標) (10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	売上額対前年比10%増			
	実績	14.4	△6.5	△10.5	8.5							
活動指標	支援事業者数	(目標) (30)	(25)	(19)	(20)	(20)	(174)	(174)	7年間で174事業者支援 (H30~R2:30件、R3:25件、R4:19件、R5~R6:20件)			
	実績	30	26	20	20							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・店舗改装・設備導入：20件支援 ・特に宿泊業において、コロナ禍から経済活動が正常に戻りつつあるなかで、前年比で売上額を大きく伸ばした事業者がある一方で、一部の事業者は売上を戻しきれていない。				令和5年度と同数の支援枠を設けて、新幹線開業を契機とした店舗改装等を検討する事業者の支援を実施し、県内の新幹線駅や観光地等周辺のにぎわいを創出することで、既存の支援店舗の売上向上を目指していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	67	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

商店街等集客力向上支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	商店街、事業協同組合、まちづくり会社等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	(1) 1/3、(2) (3) 1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [Ⅲ 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン、FIRST291～北陸新幹線 開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] 地元の商店街が魅力を向上し来客者の増加を図る取組みをしようとしても、商店街の予算額が減少しているため事業実施に利用できる予算確保が難しいため、取組みの実施に至らない。						[問題・課題を表す客観的データ] 中小企業庁「平成30年度商店街実態調査」 問5(1)①② 平成30年度の総事業予算額 (3年前との比較) 福井県 「減った」41.4%						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業効果の維持・拡大に向けて、増加する県外および外国人の観光客、地域住民や高齢者の商店街等への来街を促進し、商店街等が有する公共的機能、買物機能の維持、強化を図るため、必要な整備を支援する。												
[事業内容] (1) 商店街等活性化環境整備支援事業 (5, 219千円) 市町が作成した事業計画に基づく取組みを支援 実施主体：商店街、事業協同組合、個店グループ(中小企業者または個人事業主3者以上で構成)等 県補助上限額：1か所 6, 000千円(最大3年間に分けて補助) 補助率：県1/3、市町1/3(市町への間接補助) 補助対象事業 ① 地域交流拠点設置事業(コミュニティスペース整備等) ② 商店街等広域連携事業(ポイントカード地域統一化等) ③ 商店街賑わい創出事業(案内QRコード設置、イベント開催等) ④ 新幹線開業イベント開催事業 など (2) 福井市中心市街地にぎわい創出事業 (4, 000千円) 福井駅西口再開発事業の工事により減少した来客数を取り戻してにぎわいを創出するために福井市が実施するイベント等のソフト事業を支援 実施主体：まちづくり会社等 県補助上限額：2, 000千円 補助率：県1/2、市1/2(市への間接補助) 補助対象事業：① イベントの開催 ② 商店街紹介マップの作成 (3) 新幹線開業効果最大化支援事業(13, 000千円) 北陸新幹線福井・敦賀開業効果を最大限に高めるため、県外および外国人観光客の、来街促進と消費拡大を目的に官民連携して策定されたまちづくり計画において位置づけられた事業について支援を行う。 実施主体：まちづくり会社 県補助額：13, 000千円 補助率：県1/2、市町1/2(市への間接補助) 補助対象事業：PR販促グッズ、共通デザインの看板作成等												
[受益者] 商店街、事業協同組合、個店グループ						[想定される受益者数] 5団体						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域商業活性化事業 (実績) 商店街等が新たに実施する公共空間の施設整備、設備整備およびソフト事業。共同店舗が高齢者等の買物促進のために実施する施設整備、設備整備およびソフト事業。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	市町も県と同様に1/2～1/3を補助することにより県と共同して事業を実施					他県の状況						

商店街等集客力向上支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	商店街、事業協同組合、まちづくり会社等				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	補助											
補助率	(1) 1/3、(2) (3) 1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	22,219	11,109			11,110	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		21,200	16,024	17,692	9,400	22,219	「新幹線開業効果最大化支援事業」の支援メニューを追加					
2月現計予算額の推移		2,750	12,861	12,219	9,400							
決算額の推移		1,778	12,595	12,099								
前年度までの 主な増減理由	各市町からの事業要望額による増減											
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	支援した商店街等の通行量の増加率 (目標) 実績	(80) 78	(80) 78	(80) 82	(10)	(10)	(10)	(10)	R2~R4：事業計画で設定した課題の解決率（目標：80%） R5~：支援商店街等の事業実施前後の歩行者・来店者数の増加率（目標：平均10%増）			
活動指標	環境整備に取り組む商店街等の数 (目標) 実績	(6) 3	(6) 6	(6) 5	(4) 8	(8)	(36)	(36)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・令和5年度商店街等の活性化につながる環境整備等の取組支援：8件 ・商店街や商業施設への誘客やにぎわい創出について、令和4年度はコロナ禍から経済状況等が正常にもどつつあるなかでおおむね課題の解決が図れている。				令和4年度時点で商店街等の活性化に関する計画を策定している商店街等や新幹線開業に向けて特段の支援が必要な商店街等について補助を実施。 更に北陸新幹線福井・敦賀開業効果を最大限に高めるために官民連携して策定されたまちづくり計画において位置づけられた事業に対する支援を開始する。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

「新福井方式」によるショッピングセンター支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県、福井県共同店舗協同組合連合会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助、委託											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る (産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] コロナ禍による生活様式の変容 (ネットショッピングの増加) や物価高騰による利益減少、さらに施設の老朽化や組合方式による運営の行き詰まりなど、ショッピングセンターを取り巻く環境が悪化している。						[問題・課題を表す客観的データ] ● 県内百貨店・ショッピングセンター販売額 (百万円) R1 : 46,507、R2 : 39,017、R3 : 36,012、R4 : 36,940						
[事業目的] コロナ禍による生活様式の変容 (ネットショッピングの増加) や物価高騰による利益減少、さらに施設の老朽化など、ショッピングセンターを取り巻く環境が悪化しているなか、地元商業者が運営する県内のショッピングセンターが今後も地域から必要とされ、県民の消費活動やコミュニティ活動を支える場所として維持・拡大を図るための支援を行う。												
[事業内容] (1) 共通組織によるリーシング事業支援 ・実施主体：ショッピングセンターを運営する協同組合が出資して設立する一般社団法人 ・補助率：1/2、補助上限：2,000千円 (2) 地元商業者活性化のためのフロアづくり支援 ・実施主体：県内中小企業者からなる組合、または県内中小企業等が運営するショッピングセンター ・補助率：1/3 ・補助上限：50,000千円 (3) 研究会開催 ・実施主体：県 ・事業費：700千円 (委託)												
[受益者] ショッピングセンターを運営する協同組合等						[想定される受益者数] 13事業者						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ショッピングセンターの今後のあり方についての研究会 (政策トライアル事業) (実績) 専門家による研究会、先進事例の研究等により、ショッピングセンターの今後の在り方に関する方策を検討				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況					他県の状況							

「新福井方式」によるショッピングセンター支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男					
事業主体	県、福井県共同店舗協同組合連合会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法	補助、委託					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	52,700					52,700										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						52,700										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	新規出店テナント数 (目標) 実績					(5)	(10)	(10)	目標：10店舗							
活動指標	リニューアル実施SC (目標) 実績					(1)	(6)	(6)					県内SCのうち6店舗			
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								□ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

インバウンドによる地域消費拡大推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課		課長名	荒木 一男
事業主体		飲食店等インバウンド対応推進協議会			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法		負担金								経過年数		
補助率		定額								5 年		
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]			関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 個別店舗においてインバウンド対応の費用がなく、インバウンド対策が進んでいない。						[問題・課題を表す客観的データ] 商店街の年間予算における支出割合 インバウンド関連費：0.4% (中小企業庁「令和3年度商店街実態調査」)						
[事業目的] インバウンド向けWEBアプリにより個々の飲食店では対応が難しい商品・サービスの多言語化等を進め、北陸新幹線福井・敦賀開業効果の拡大、大阪万博の開催や新型コロナウイルス感染症からの回復を見据えた外国人観光客等による地域での消費拡大を図る。												
[事業内容] (1) WEBアプリの維持・継続 アプリの安定稼働、旬な情報の随時掲載等により満足度の向上を図る (2) 参加店舗の拡大 協議会の参画市以外にも新幹線沿線市町を中心に拡大し、県全体でインバウンド体制を整え、外国人観光客による消費拡大を促す (3) プロモーションの強化 新幹線駅や空港、宿泊施設などの外国人観光客が利用する場所や旅行サイト等で広報を実施												
[受益者] 県内の飲食店等店舗						[想定される受益者数] 400店舗						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	新幹線の沿線市町を中心に、県内4市(あわら市、越前市、敦賀市、小浜市)と協力し、参画店舗を拡大していく					他県の状況						

インバウンドによる地域消費拡大推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	飲食店等インバウンド対応推進協議会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	負担金							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	定額							<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	8,198		4,099			4,099		デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）				
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移				22,575	6,390	9,000	8,198	広報費用等事業費の見直しのため				
2月現計予算額の推移			15,000	10,080	6,390	9,000						
決算額の推移			14,765	8,958	4,193							
前年度までの主な増減理由		令和3～4年度：アプリの運営費用の減（新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に追加登録を中止） 令和5年度：アプリの機能見直し・改修等に係る増										
[成果指標等の推移]												
区分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	アプリ参加店舗	(目標)	(100)	(200)	(200)	(270)	(270)	(270)	(360)	1市町あたり30店舗の参加および福井市店舗の移行		
		実績	111	140	150	210						
活動指標	アプリ参加市町	(目標)	(1)	(2)	(2)	(4)	(5)	(5)	(7)	北陸新幹線新幹線駅立地市および沿線市町の参加		
		実績	1	1	1	4						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
地元企業を運営体制に組み込み、エリア拡大とWEBアプリの利便性向上に向けたリニューアルを行った。（令和6年2月） 新幹線開業前でインバウンドへの対応について、消極的な店舗も見られる。				コロナ禍からの回復および北陸新幹線の開業による外国人観光客の増加に向け、リニューアル後のWEBアプリの広報を強化するとともに、市町および店舗への参加を呼びかけていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	802	

官民連携による「県都まちなか再生ファンド」活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県都まちなか再生ファンド運営委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [Ⅲ 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい経済ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン、県都ランドデザイン]					
[解決すべき問題・課題] 西武福井新館の閉店や老朽化した空きビルの増加、再開発事業に伴う来街者の減少など、県都福井の中心市街地の活力低下。						[問題・課題を表す客観的データ] ・中央1丁目の空き店舗数(R3年8月) 29店舗(10.5%) ・1か月間の駅前への来街回数(R1年5月) 0回37.7%、1回22.2%、2回23.4%、3回以上16.6% (まちづくり福井による定期調査)						
[事業目的] 県・福井市・福井商工会議所が参画する「県都にぎわい創生協議会」において、福井駅周辺のまちづくりのランドデザインが策定され、福井駅周辺のテナント・マネジメントを強化し、空きビル対策やリノベーション推進、街並みの向上を図るなど、北陸新幹線福井開業に向けた受入態勢づくりを進めていく。												
[事業内容] 福井県の玄関口である福井駅中心市街地を魅力あるものにし、県外観光客が何度も訪れたいくなるまちにするため、「県都まちなか再生ファンド」を活用し、外観のリノベーションや、「県都ランドデザイン」の目的に合った店舗を誘致するために必要な支援を行う。 (基金の概要) ・基金総額 24億円(県12億円、福井市12億円) ※基金は取崩型とし、別途、金融機関が事業者へ協調して融資 ・基金設置 県都まちなか再生ファンド運営委員会(県、市、学識経験者、金融機関等で構成、負担金として支出) ・支援対象 「県都ランドデザイン」に基づき、福井市中央1丁目および3丁目等の店舗所有者等が実施する商業ビル等の改修・高度利用の推進、民間再開発の実施、店舗のリノベーションなど												
[受益者] 福井駅周辺への出店事業者						[想定される受益者数] 15事業者(R6支援事業者数)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 地域商業活性化事業 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	福井市が同額を負担					他県の状況						

官民連携による「県都まちなか再生ファンド」活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県都まちなか再生ファンド運営委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	290,000	34,953		(繰) 255,047		デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 繰入金（地域振興基金）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				1,350,000	290,000	290,000						
2月現計予算額の推移				1,235,500	64,131							
決算額の推移				1,220,264								
前年度までの 主な増減理由	令和4年度において、「県都まちなか再生ファンド」を造成、令和5年度以降は「県都まちなか再生ファンド」の取崩による事業実施											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	改修等支援件数	(目標)		(8)	(15)	(15)	(38)	(68)	新幹線開業効果の最大化のため、前年実績を超える件数を目標とする			
		実績		10	12							
活動指標	改修等相談・営業件数	(目標)		(20)	(30)	(30)	(80)	(140)	支援件数の2倍程度			
		実績		95	118							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
店舗のリノベーション支援 9件 洗練された店舗等支援 1件 新栄商店街ミニ再開発支援 2件 改修等にかかる相談件数は非常に多く、事業者からの関心は令和4年度から引き続き高い状況にある。				引き続き、福井駅周辺への店舗出店や既存店舗のリノベーションを検討する事業者に対し、「県都まちなか再生ファンド」の活用を促し、支援を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

官民連携による「敦賀市まちづくりファンド」活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	敦賀市まちづくりファンド運営委員会				事務 区 分	■ 自治事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン、 金ヶ崎魅力向上デザイン計画]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線敦賀開業に向け、敦賀市中心部を賑わいのあるものとし、観光客を呼び込む核となるエリアを早急に整備を必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 観光客入込数(敦賀市) R元: 3,694千人 R2: 2,087千人 R3: 2,178千人 R4: 2,605千人 (出典: 福井県観光客入込数)						
[事業目的] 県・敦賀市・敦賀商工会議所が参画する「金ヶ崎周辺魅力づくり協議会」において、敦賀市中心市街地のまちづくりのデザイン計画策定を進めており、その中間報告に基づき、敦賀市中心市街地のテナント・マネジメントを強化し、空きビル対策やリノベーション推進、街並みの向上を図るなど、北陸新幹線福井開業に向けた受入態勢づくりを進めていく。												
[事業内容] 北陸新幹線敦賀開業に向け、敦賀市中心部を賑わいのあるものとし、観光客を呼び込む核となるエリアのビルの改修や景観整備、リノベーションを進めるため、県・市でそれぞれ積み立てた基金で支援を行う。 (基金の概要) 基金総額 9億円(県4億円、敦賀市5億円) ※地域振興基金に積み立て、敦賀商工会議所に負担金として支出 (支援対象) 敦賀市の観光の中核となる敦賀駅前エリア、気比神宮エリア、敦賀港周辺エリアを連結する5つの商店街(駅前商店街、本町1・2丁目商店街、神楽町商店街、相生町・博物館通り商店街)の店舗所有者等が実施する商業ビル等の改修・高度利用の推進、景観整備、店舗のリノベーションなど												
[受益者] 敦賀市中心部への出店事業者						[想定される受益者数] 8事業者(R6支援事業者数)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	敦賀市が県と同額分を負担					他県の状況						

官民連携による「敦賀市まちづくりファンド」活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男		
事業主体	敦賀市まちづくりファンド運営委員会				事務区分	■ 自治事務		事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金				
補助率	—					■ その他			<input checked="" type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	120,000	40,917		(繰) 79,083		デジタル田園都市国家構想交付金 (地方創生推進タイプ)							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				420,000	120,000	120,000							
2月現計予算額の推移				420,000	81,968								
決算額の推移				410,098									
前年度までの 主な増減理由	令和4年度に「敦賀市まちづくりファンド」を造成、令和5年度以降は「敦賀市まちづくりファンド」の取崩による事業実施												
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	改修等支援件数	(目標)		(5)	(8)	(8)	(21)	(33)	敦賀市中心市街地の営業店舗と空き店舗の合計数282件 (R4.11時点)のうち、10%以上の改修等を実施				
		実績		5	27								
活動指標	改修等相談・営業件数	(目標)		(10)	(16)	(16)	(42)	(74)	支援件数の2倍程度				
		実績		50	50								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
店舗のリノベーション支援 22件 大規模物件の外観整備等支援 5件 改修等にかかる相談件数は非常に多く、事業者からの関心は令和4年度から引き続き高い状況にある。				補助実績の周知などの広報を強化し、「敦賀市まちづくりファンド」のさらなる活用を進める。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

福井駅周辺商業エリアにおける観光消費拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [Ⅲ 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]					関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]				
[解決すべき問題・課題] 県内商品・サービスの販売強化による新幹線開業効果の波及・拡大						[問題・課題を表す客観的データ] R元年 都道府県別 旅行消費単価(万円/人) 消費単価2.1(26位/47都道府県) 石川県:2.8(6位) 富山県:1.9(33位) 出典:観光庁『旅行・観光消費動向調査 R元(2019年)1~12月期』						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業効果を全県的に波及させるために、県内最大の乗降客数となる福井駅周辺において、観光客が駅周辺で購入することができない「押し」のグルメ、酒、工芸を展示・販売し、県内商業者の売上を増加させる。また、インバウンド富裕層向けに伝統工芸品等を展示するスペースを設置し、観光消費額拡大を図る。												
[事業内容] (1) 観光消費拡大イベントの開催 ・ 県、各市町による季節にあわせた「押し」グルメ等の販売会を西武福井にて開催(駅周辺で購入できない奥越、嶺南の商品など) ・ 物販のほか、飲食ブースを設置し県内の人気飲食店のグルメや福井の食材を使った料理を提供 (2) インバウンド富裕層に訴求できる工芸品など高額商品の展示販売 ・ インバウンドが多い夏季に富裕層向け商品を展示販売することができる場所を駅周辺に設置												
[受益者] 小売・サービス業事業者、福井駅周辺の商店等						[想定される受益者数] 約140事業者						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ダイノデパートin西武福井・“ふくいのとっておき”フードフェア (実績) 『ダイノデパートin西武福井』(R3~R5)を開催 ・ 期間中の西武来店者数 前年同期比158%(R3) 前年同期98%(R4) ・ 開催期間中の西武売上 前年同期比116%(R3) 前年同期94%(R4) 『“ふくいのとっておき”フードフェア』(H22~R5)を開催 ・ 過去3年間の年平均の実績(R2~R4) 売上額:19,716千円 客数:49,351人 出展事業者数:19事業者					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

福井駅周辺商業エリアにおける観光消費拡大事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男						
事業主体		県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度		
事業実施方法		委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率		—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額	40,453	20,226			20,227	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）											
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移						40,453											
2月現計予算額の推移																	
決算額の推移																	
前年度までの 主な増減理由																	
[成果指標等の推移]																	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	展示・販売会売上（千円） (目標) 実績					(92,400)	(92,400)	(92,400)	『“ふくいのとっておき”フードフェア』過去3年間の実績（3,300千円/日平均）×28日間								
活動指標	開催期間 (目標) 実績					(28)	(28)	(28)	7日間×年4回程度								
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価									
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額						
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了							
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他							

越前ものづくりの里プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木一男	
事業主体	越前ものづくりの里プロジェクト運営委員会、鯖江市、越前市、越前町、小浜市				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 ■ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	負担金、補助											
補助率	県1/2、市町1/2											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [II 成長を創る(産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統工芸産業の生産額・従事者の減少 ・ 丹南5産地が連携した販路開拓や産業観光の推進 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的工芸品7産地 生産額：23,792百万円(H7)→10,432百万円(R3) 従事者：2,741人(H7)→1,558人(R3) 						
[事業目的]												
伝統工芸産地（越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前箆笥）が丹南地域に集積している本県の特徴を活かし、現場の意見を取り入れた、「攻め」の後継者育成、魅力発信を行うことにより、伝統工芸の新たな価値を高める。												
[事業内容]												
(1) 伝統工芸職人塾 工芸分野に携わりたい若者等が、技能に加え、魅力ある商品づくり、デザインや経営的な視点を学べる「職人塾」を開設 (2) 創業支援事業 伝統的工芸品の製造に従事する者が創業する際に必要な経費を一部支援 (3) 伝統工芸人材育成事業 伝統工芸職人塾を卒業した職人や中堅職人のモチベーションを向上するため、産地活性化のノウハウを習得できるセミナーやコンペティションを開催 (4) 伝統工芸産地連携事業 丹南5産地が連携して、意欲的な産地組合や現場の若手職人・クリエイター等が協働で販路開拓や産業観光のための取り組みを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 首都圏や新幹線沿線周辺地域等でのPRイベント開催 ・ 県内の産業観光イベントでの運営支援 等 												
[受益者] 丹南の5伝統工芸産地						[想定される受益者数] 約1,600人(丹南の伝統工芸従事者)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	運営委員会は県、市町、産地組合、商工団体で構成している。事業費用は県と市町で折半している。				他県の状況		<input type="checkbox"/> 各地の伝統工芸後継者育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡市 [クラフトマンサポート事業] 月10万円 最長2年間支援 ・ 東京都荒川区 [荒川の匠育成事業] 月14万円 最長6年間支援 ・ 鳥取県 [ふるさと産業支援事業] 月17万円 最長2年間支援 (経費は県と市町村が折半) 					

越前ものづくりの里プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木一男		
事業主体	越前ものづくりの里プロジェクト運営委員会、鯖江市、越前市、越前町、小浜市				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業終了予定年度 (見直し年度)		
事業実施方法	負担金、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金			事業開始年度	H26 年度 経過年数 11 年
補助率	県1/2、市町1/2					■ その他							
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	34,298						34,298						
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		33,594	33,594	34,994	36,489	34,298	伝統工芸産地連携事業の内容見直しによる減額						
2月現計予算額の推移		28,233	24,342	31,000	23,413								
決算額の推移		26,957	23,566	28,317									
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 産地連携事業の充実による増 ・令和4年度 創業支援事業の追加による増 ・令和5年度 伝統工芸人材育成事業の新設による増 											
[成果指標等の推移]													
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	伝統工芸職人塾 就業者数(人)	(35) 実績 42	(40) 52	(45) 63	(50) 59	(55)	(55)	(55)	地域再生計画に基づく目標値				
活動指標	伝統工芸職人塾 長期塾生数(人)	(100) 実績 115	(120) 132	(140) 152	(150) 169	(160)	(160)	(200)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸職人塾長期塾生数(5年度累計見込み)169名 ・座学(対面)回数(5年度見込み)15回 ・伝統工芸職人塾長期塾生の受入れ数について、活動指標の目標を達成でき、成果指標の職人の就業者数についても目標どおり達成 				令和5年度より開始した伝統工芸人材育成事業などを引き続き実施し、伝統工芸産地の魅力の向上、発信を行っていく。				□ 拡充	■ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	2,191		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他			

産業観光ビジネス支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木一男	
事業主体	事業者				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る (産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]				関連する県の計画等	[ふくいNEW経済ビジョン]						
[解決すべき問題・課題] 観光客を呼び込む産業観光のビジネス化と賑わい創出						[問題・課題を表す客観的データ] ・産業観光施設の集客数40万人→37万人 (4年度)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業を機とした産業観光ビジネスモデル構築のため、デザイナー等の専門家の監修による見学・体験メニュー等の開発に挑戦する企業を支援する。												
[事業内容] 体験メニュー開発等に取り組む伝統工芸関連企業への支援 事業内容 : 企業の工場見学や体験メニュー開発等の経費を助成 (1) スポット店舗 デザイナー等の専門家の監修による見学・体験メニュー等の開発、情報発信 (2) HUB拠点 上記に加え、営業・PR等に対応するスタッフの配置等 補助対象 : 伝統工芸、眼鏡等県内ものづくり企業や県内企業集団 産地組合等 補助率 : 2/3 補助上限額 : (1) スポット店舗 3,000千円/件 (2) HUB拠点 5,000千円/件												
[受益者] 伝統工芸関連企業						[想定される受益者数] 5社						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町民や県外訪問者等に対する事業PR ・市町や伝統工芸組合が参加する協議会において関連事業を実施					他県の状況	—					

産業観光ビジネス支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木一男	
事業主体	事業者				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	補助			<input type="checkbox"/> 法定受託事務				<input type="checkbox"/> その他				
補助率	県2/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	17,073	8,536			8,537	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		25,379	15,379	20,379	17,073	17,073						
2月現計予算額の推移		12,277	3,136	20,379	15,998							
決算額の推移		11,242	2,922	16,586								
前年度までの 主な増減理由	令和5年度：スポット店舗の補助件数見込みの減（5件→4件）											
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	支援事業者の売上上昇数 (社)	—	(6)	(9)	(14)	(19)	(19)	(24)	事業実施前と比較して売上が上昇した事業者数			
	実績	—	6	8	13							
活動指標	支援件数（件）	(6)	(5)	(6)	(5)	(5)	(5)	(5)	スポット店舗4か所、HUB拠点1か所			
	実績	6	3	5	5							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・5年度の採択件数 スポット店舗4件 HUB拠点1件 ・前年度の支援事業者5社について、成果指標の目標を達成し、令和4年度の1社を除いた13社が事業実施前と比較して売上を伸ばしている。				・対象者を「伝統工芸の企画・製造・販売を行う事業者」に変更し、伝統工芸関連事業への支援に特化				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

住宅への伝産品利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男		
事業主体	事業者					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助												
補助率	瓦・和紙ともに1,000円/m ² (上限100千円)												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る (産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]					関連する県の計画等		[ぶくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 生活様式の変化に伴う越前瓦、越前和紙の需要減						[問題・課題を表す客観的データ] ・越前瓦出荷額 1,950百万円 (H19) →197百万円 (R4) ・越前和紙生産額 4,200百万円 (H19) →1,902百万円 (R4)							
[事業目的] 住宅の新築時や、リフォーム時に越前瓦や越前和紙を使用する場合に、導入経費の一部を助成し、低迷している福井固有の地場製品の需要の拡大を図る。													
[事業内容] 「越前瓦」・「越前和紙」の需要拡大支援 ①新築・リフォーム時の越前瓦・越前和紙の使用支援 (5,600千円) 県産材活用課の「県産材を活用したふくいの住まい支援事業」の対象者が、屋根材に越前瓦を、襖紙や壁紙に越前和紙を使用する場合、導入経費の一部を助成 (上限各10万円) ②上記支援制度の案内パンフレットの作成等 (177千円)													
[受益者] 越前瓦・越前和紙製造事業者						[想定される受益者数] 約60事業者							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県産材を活用したふくいの住まい支援事業 (役割分担) 県産材を活用した新築・リフォーム時に対し、その敷地面積に応じて補助金を支給。 さらに屋根材として越前瓦、和室などに越前和紙を使用する場合には、当事業において上乘せ補助を実施。					
市町との連携状況	—					他県の状況		住宅の屋根に瓦を使用する場合の助成制度は一部見られるが、住宅の壁紙等に和紙を使用する場合の助成制度なし。					

住宅への伝産品利用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男						
事業主体		事業者				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	H26 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度		
事業実施方法		補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率		瓦・和紙ともに1,000円/㎡(上限100千円)															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額	5,777				5,777												
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移		8,245	8,245	6,235	5,777	5,777											
2月現計予算額の推移		4,095	4,596	3,250	3,616												
決算額の推移		3,296	3,369	3,088													
前年度までの 主な増減理由		・令和5年度：実績実績をふまえた補助金額の減															
[成果指標等の推移]																	
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	生産額	(目標) (3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	越前瓦、越前和紙の生産額の合計(単位百万円)								
		実績 2,260	2,087	2,099													
活動指標	補助件数	(目標) (80)	(60)	(60)	(56)	(56)	(56)	(56)	越前瓦28件、越前和紙28件 計56件								
		実績 41	42	41	40												
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価									
越前瓦25件、越前和紙15件 計40件 建材等物価高騰により新築、リフォーム件数が減少したことも影響し、越前瓦、越前和紙導入件数は目標を達成しなかった。				本支援制度の案内パンフレットを活用し、補助件数を伸ばすことで、県内の越前瓦、越前和紙の生産額に寄与するよう努める。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額						
								■ 継続	□ 休止	□ 完了							
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他							

伝統工芸産地コーディネート推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男		
事業主体	事業者				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開 始 年 度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	委託												
補助率													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る(産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]						
[解決すべき問題・課題] 伝統工芸産地の生産額の減少とそれに伴う事業所数、従業員数の減少						[問題・課題を表す客観的データ] 平成7年 237.9億円 → 令和4年 110.2億円							
[事業目的] 新幹線開業に合わせ、伝統工芸産地の産業観光を通年型のコンテンツとして展開できるよう、産地をまたいだ大規模な仕掛けづくりを民間事業者とともに実施する。													
[事業内容] (1) 産業観光受入体制づくり 産業観光専門ガイドや販売員など外部人材の育成・活用 観光客のニーズに合った体験メニューの創設 モニターツアーの実施による内容のブラッシュアップ (2) 体験メニューや産業観光のプランの発信 産地の情報や取組を集約し、ホームページ等で発信 産地間を周遊するツアーを醸成し、観光客にとって魅力的なプランを提示													
[受益者] 県内の各伝統工芸産地						[想定される受益者数] 7産地							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況							

伝統工芸産地コーディネート推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	事業者				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	16,390					16,390						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					19,206	16,390	伝統工芸パンフレット改訂完了（R5）のため減額					
2月現計予算額の推移					17,750							
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	伝統工芸産地の入込数（延べ） (目標) 実績				(40)	(50)	(50)	(50)	目標（ふくいNEW経済ビジョン） 50万人（2027年）			
活動指標	産業観光コンテンツ数（累計） (目標) 実績				(4)	(8)	(8)	(12)	新規に創設・発信するコンテンツ数4件			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年10月より産業観光受入体制づくり開始 ・ 伝統工芸PRツールとしてパンフレット（英語版を含む）製作 				引き続き、ガイド育成等の産業観光受入体制づくりを実施していくとともに、令和5年度に製作した伝統工芸パンフレットを活用した産地への呼び込み強化を実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,816	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

伝統工芸品販売ブーストアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	事業者				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	県3/4											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る (産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]				関連する県の計画等	[ふくいNEW経済ビジョン]						
[解決すべき問題・課題] 伝統工芸産地の売上向上						[問題・課題を表す客観的データ] 7産地の生産額の合算がコロナ前（平成30年度）と比べて約10%減（120億円→110億円）						
[事業目的] 首都圏等での展示会や個展等による県内伝統工芸品の売り込みを行い販路開拓、産業観光に繋げる。また、リニューアルしたふくい食の国291や南青山のコワーキングスペースを首都圏での販路開拓の拠点として活用する。												
[事業内容] 展示会・個展・販売会の開催支援 ・伝統工芸に関わる個人作家などが福井駅前、軽井沢等の各新幹線駅前、関西圏、観光地、食の国291や南青山のコワーキングスペースなどで展示会、個展、販売会等を開催する際の経費を補助 補助対象 県内伝統工芸の企画・製造事業者 補助率 3/4 補助上限額 500千円												
[受益者] 伝統工芸の企画・製造事業者・個人作家						[想定される受益者数] 20事業者						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

伝統工芸品販売ブーストアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男						
事業主体		事業者				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度		
事業実施方法		補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率		県3/4															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額	10,000				10,000												
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移					10,000	10,000											
2月現計予算額の推移					7,500												
決算額の推移																	
前年度までの 主な増減理由																	
[成果指標等の推移]																	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	支援事業者の売上上昇数 (社)	(目標)			(20)	(20)	(20)	(60)	支援事業者の前年度比の売上上昇数								
		実績															
活動指標	支援件数 (件)	(目標)			(20)	(20)	(20)	(60)	20事業者支援								
		実績			23												
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価									
令和5年度支援件数 23件 補助事業実施事業者の募集を2回実施することで、活動指標の支援件数を目標どおり達成				北陸新幹線福井・敦賀開業により、伝統工芸作家や事業者の展示会への出展機会の増加が見込まれるなかで、本事業による出展支援を実施していく。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額						
								■ 継続	□ 休止	□ 完了							
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他							

越前焼魅力発信強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [Ⅲ 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等			[ふくい観光ビジョン]				
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線開業を契機に、来県する観光客に対する越前焼の魅力発信を強化し、 全国の注目を集めながら将来のリピーターを増加させる必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 陶芸館来館者が新型コロナウイルスの影響により横ばいとなっている。 R元:約45千人→R2:約45千人						
[事業目的] 令和5年度末の北陸新幹線金沢―敦賀間開業を見据え、鉄道関連のやきもの(汽車土瓶・駅そば皿)に焦点を当てた特別展やその関連イベントを開催することで、 県内外から訪れる工芸好きの人々に加え、鉄道ファンといったこれまで陶芸館に訪れたことがない人々への集客につなげる。												
[事業内容] ・特別展 令和6年3月～6月 「鉄道の旅を彩った焼物―汽車土瓶とそば皿―」 ・関連行事 記念講演会 「福井の駅そばと駅弁」川野 真理子氏(元鉄道博物館学芸員) 「そば皿と汽車土瓶」畑中英二教授(京都市立芸術大学) 越前焼の汽車土瓶復刻プロジェクト ほか												
[受益者] 陶芸館来館者						[想定される受益者数] 50,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

越前焼魅力発信強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男			
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											R5 年度		
補助率												経過年数 2 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,292				(諸) 140	3,152		図録販賦料						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						12,103	3,292	令和6年度は主に特別展「鉄道の旅を彩った焼物—汽車土瓶とそば皿—」の関連イベントおよび展示場復旧にかかる費用を計上						
2月現計予算額の推移						12,103								
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	陶芸館来館者数	(目標) 実績				(50,000)	(50,000)	(50,000)	(50,000)	令和4年度比10%増				
活動指標	特別展開催数	(目標) 実績				(1)	(1)	(1)	(1)	年1回(1テーマ)実施				
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
令和5年度 陶芸公園(陶芸館・越前古窯博物館含む)来訪者数 約75,000人(令和5年12月時点)					令和6年3月より開催する特別展「鉄道の旅を彩った焼物—汽車土瓶とそば皿—」のワークショップや講演等のイベントを実施し、来館者数の増加を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	8,811		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

国内外に向けた伝統工芸産地の発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	実行委員会等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	定額											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る (産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 観光客を呼び込む産業観光のビジネス化と賑わい創出						[問題・課題を表す客観的データ] 産業観光施設の集客数40万人→37万人 (4年度)						
[事業目的] 伝統工芸産地において開催が予定されている国際会議やサミットに併せて、開催市町や産地が連携して実施するおもてなし交流イベントを支援し、 本県の伝統的工芸産業の国内外に向けたPRと誘客促進を図る。												
[事業内容] 県内での開催が決定している国際会議等に併せて、開催地域が主体となって実施する交流イベントに対し費用を一部負担 【開催地】 <input type="checkbox"/> 【メイン行事名】 <input type="checkbox"/> 【交流イベント等】 越前市 <input type="checkbox"/> 第5回国際木版画会議 (R6.4月) 越前和紙を含めた丹南に集積する5つの伝統工産地のエクスカージョンやサテライト展示を実施 鯖江市 <input type="checkbox"/> 第27回ジャパン漆サミット (R6.10月) 県内の伝統工芸産地を紹介する展示・越前漆器産地の案内看板設置												
[受益者] 丹南地域の伝統工芸産地						[想定される受益者数] 5産地						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況					他県の状況							

国内外に向けた伝統工芸産地の発信事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男						
事業主体		実行委員会等				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度		
事業実施方法		負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						■ その他	
補助率		定額															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額	4,000	2,000			2,000	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）											
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移						4,000											
2月現計予算額の推移																	
決算額の推移																	
前年度までの 主な増減理由																	
[成果指標等の推移]																	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	交流イベント参加者数 (目標) 実績					(1,000)	(1,000)	(1,000)	国際会議等出席者 約500人 産地交流イベントの参加者 約500人								
活動指標	交流イベントの開催件数 (目標) 実績					(2)	(2)	(2)	鯖江市、越前市の2市で各1件								
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価									
								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額						
								□ 継続	□ 休止	□ 完了							
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他							

県都まちなかにおけるイノベーション創出推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体		公益財団法人 ふくい産業支援センター、一般社団法人 福井県クリエイター協会			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助											
補助率	10/10、3/4											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [II 成長を創る(産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]				関連する県の計画等		[県都グランドデザイン、ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
デザイン・クリエイティブ人材の確保とデザインの価値創出						北陸三県でデザイン業の従業者数を比較すると、石川・富山の半数以下						
[事業目的]												
デザイナーをはじめとするクリエイター、事業者、県民が気軽に交流し、デザインに触れてもらえる拠点をまちなかに設けることにより、人材の育成や掘り起しを行い、多様な社会のニーズに対応できるデザイン・クリエイティブ人材を確保するとともに、デザインの価値創出を促進する。												
[事業内容]												
<p>(1) <input checked="" type="checkbox"/>デザイン・クリエイティブ振興拠点の開設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内クリエイターが気軽に集まり交流できる拠点をまちなか（福井駅周辺）に開設し、デザインに関する相談窓口を設置 ・ コーディネーターによるクリエイター間でのワークシェアリングや若手クリエイターの育成を推進する活動を実施 ・ デザイナー紹介ホームページ「デザイナーバンク」のリニューアルにより、デザイナー以外の県内のクリエイターの検索、紹介機能を強化 <p>(2) <input checked="" type="checkbox"/>クリエイティブ人材育成やデザイン啓発のためのイベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちなかを拠点に「一般社団法人 福井県クリエイター協会」と協働してクリエイターのためのセミナーや交流会を開催 ・ 子どもやデザインに興味のある県民等、幅広い世代がデザインに親しむことができるイベントを開催 <p>実施主体：(1) 公益財団法人 ふくい産業支援センター、(2) 一般社団法人 福井県クリエイター協会</p>												
[受益者] 県内のクリエイター等およびデザインを活用する事業者・県民						[想定される受益者数] 県内のクリエイター等約200名						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 県都まちなかにおけるイノベーション創出推進事業（経営改革課） (役割分担) ・ 福井駅周辺におけるインキュベーション施設の整備支援 ・ 県企業支援チームがインキュベーション施設に入居し、イノベーション促進等の県内企業の支援を実施（県企業支援チームとクリエイターが協働し、デザイン支援を実施）				
市町との連携状況						他県の状況						

県都まちなかにおけるイノベーション創出推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男						
事業主体		公益財団法人 ふくい産業支援センター、一般社団法人 福井県クリエイター協会				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	□ 実行予算		事業 開 始 年 度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法		補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率		10/10、3/4															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額	17,708	4,060			13,648	デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）											
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移																	
2月現計予算額の推移					17,708												
決算額の推移																	
前年度までの 主な増減理由		令和5年度：国経済対策の活用による前倒しのため2月補正予算において計上															
[成果指標等の推移]																	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	クリエイターバンク登録者数(人) (目標) 実績					(150)	(160)	(170)	初年度県内クリエイター150名登録 翌年度以降新規クリエイターを年10名増加								
活動指標	イベントの開催件数 (目標) 実績					(9)	(13)	(13)	セミナー1回、企画展年1回								
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価									
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額						
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了							
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他							

インバウンド受入環境整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力) 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]]				関連する県の計画等	[ふくいNEW経済ビジョン、ふくい観光ビジョン]						
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業を迎えたなか、主要観光地等でのインバウンド受入環境の整備が急務である。						[問題・課題を表す客観的データ] 県内の小売・サービス店舗におけるキャッシュレス決済導入率 67.5% (令和2年度県産業政策課調査結果)						
[事業目的] 商業・サービス事業者に対して、キャッシュレス決済の整備にかかる費用を支援することにより、外国人観光客の消費拡大や利便性向上を図る。												
[事業内容] 小売店、飲食店等におけるICカードリーダーなどキャッシュレス対応機器の導入に係る費用を支援 実施主体：県内の小売業、サービス業の事業者 県補助額：1事業者最大100千円 助成率：国1/2、県1/2(経済産業省IT導入補助金の上乗せ) 助成件数：800件												
[受益者] 県内の小売・サービス事業者						[想定される受益者数] 800事業者						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域商業活性化事業(小規模事業者キャッシュレス決済推進事業) (実績) キャッシュレス決済端末機整備支援 211件(H29~H30)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 インバウンド受入環境整備事業(個別免税店の登録・導入にかかる経費支援) (役割分担) 商業・サービス事業者に対して、本事業によるキャッシュレス決済の導入支援とともに、免税店の整備等にかかる費用を支援し、県内のインバウンド受入環境の整備を進める。				
市町との連携状況						他県の状況						

インバウンド受入環境整備事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	91,232	45,616			45,616	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移												
2月現計予算額の推移					91,232							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由	令和5年度：国経済対策の活用による前倒しのため2月補正予算において計上											
[成果指標等の推移]												
区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県内のキャッシュレス決済導入割合（%） (目標) 実績					(70)	(70)	(70)	800事業者の支援により、令和2年度の67.5%から70%台とする			
活動指標	キャッシュレス導入支援件数 (目標) 実績					(800)	(800)	(800)	支援件数800件（令和6年度）			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

コネクト291 in福井開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託、直営、補助											
補助率	県1/2											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等			[ふくいNEW経済ビジョン FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]				
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線福井・敦賀開業が迫る中、県内事業者の首都圏に向けた発信力強化、県内企業と首都圏企業の交流促進を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 商業動態統計 2021年商業販売額(経済産業省) 商業販売額 551兆9,100億円(前年比 6.0%) 【内訳】卸売業 401兆4,480億円(前年比 7.7%)、小売業 150兆4,620億円(前年比 1.9%)						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業が迫る中、県内企業と首都圏企業の交流を促進する事業を行うことにより、福井県ビジネス支援センターで活躍するクリエイターを基軸に、県内で首都圏企業と県内企業のビジネスマッチングを誘発し、新商品開発、販路拡大につなげる。												
[事業内容] (1) コネクト291 in福井 ・首都圏企業・クリエイターを招いて、個別相談会やパネル展などの交流会を開催 ・首都圏クリエイター等への旅費補助 ・県内コワーキングスペースの利用補助 (2) コネクト291 in福井の新商品の販売イベント補助(補助率1/2) ・コネクト291 in福井で開発された新商品の販売イベントを「ふくい食の国291」で実施する場合の旅費を補助												
[受益者] 首都圏でビジネス展開を行う県内事業者						[想定される受益者数] 10社						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

コネクト291 in福井開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男					
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度		
事業実施方法	委託、直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	県1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額																
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					3,131											
2月現計予算額の推移					3,131											
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由	令和4年度は「アンテナショップリニューアル事業」の一部として実施															
[成果指標等の推移]																
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	首都圏企業と県内企業のビ ジネスマッチング件数	(目標)			(10)		(10)	(10)	コネクト291 in福井に参加する首都圏企業・クリエイター							
		実績														
活動指標	コネクト291 in福井での 個別商談件数	(目標)			(20)		(20)	(20)	コネクト291 in福井の県内企業の参加目標数							
		実績														
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価								
首都圏のクリエイター等と連携した商品開発支援マッチング件数：50 件（県産品の商品開発・291によるセレクト事業、2月時点）				「県産品の商品開発・291によるセレクト事業」に統合				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	3,131					
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

「ふく割」による消費喚起事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体		ふくいデジタルバウチャー推進協議会			事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]			関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 原油高による物価上昇や新型コロナウイルスの感染拡大などから生じる消費活動の抑制						[問題・課題を表す客観的データ] 家計支出の状況 ※2019年同時期比 【衣料】9月：69.4% 10月：113.9% 11月：69.0% 12月：90.8% 【外食】9月：77.6% 10月：97.9% 11月：66.1% 12月：67.1%						
[事業目的] コロナ禍により生活様式や消費行動が変化している中、その影響を強く受けている業種を支援する「ふく割」を発行し、消費活動を下支えしていく。また、市町や民間の「ふく割」を活用した消費喚起をサポートするため、システムや事務局の維持管理を行う。												
[事業内容] (1) 消費活動を下支えするクーポンの発行(146,000千円) 発行時期：令和5年4月～10月 種類：衣料品限定クーポン 衣料品限定クーポン(mini) 地酒限定クーポン 伝統工芸品限定クーポン など (2) デジタルバウチャー「ふく割」のシステム・事務局の維持管理(93,345千円)												
[受益者] 県内の小売・飲食・サービス事業者						[想定される受益者数] ふく割参加店舗 5,500件						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況		県内13市町と連携し、消費喚起キャンペーンを実施 (あわら市、永平寺町、福井市、大野市、鯖江市、越前市、越前町、南越前町、敦賀市、若狭町、小浜市、おおい町、高浜町)				他県の状況		滋賀県がデジタル商品券事業を実施(R4.11～)				

「ふく割」による消費喚起事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	ふくいデジタルバウチャー推進協議会				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開 始 年 度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務			<input type="checkbox"/> 補助金		R2 年度	
補助率	-								■ その他		経過年数 4 年	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			300,000	634,072	239,345							
2月現計予算額の推移		627,534	1,709,966	2,578,891	343,335							
決算額の推移		580,298	1,707,965	2,478,891								
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	消費喚起額	(目標)	(25.0)	(65.7)	(35.0)	(3.5)			コロナ禍による消費の落ち込み分の喚起			
		実績	22.7	76.1	103.9	2.5						
活動指標	事業参加店数	(目標)	(3,000)	(4,000)	(6,000)	(6,000)			関連事業者14,420件の40% (内訳：宿泊飲食4,397件、生活関連サービス・娯楽3190件、小売6,833件)			
		実績	3,500	5,000	5,600	5,800						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
令和2年度消費喚起額 22.7億 令和3年度消費喚起額 76.1億 令和4年度消費喚起額 103.9億 令和5年度消費喚起額 2.5億				令和6年1月に「ふく割」クーポンの発行を終了し、事業完了				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	239,345	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	■ 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

“ふくいのおとておき”フードフェア開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[ふくいNEW経済ビジョン]						
[解決すべき問題・課題] 再開発や新型コロナウイルスの影響で駅前の来街数が減少し、街なかの賑わいが失われてきている。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井市中心市街地(中央一丁目)店舗数 H22:389 H28:337 R3:280 R4:259 西武福井店の来店者数(単位:千人) H30…2,854 R1…2,729 R2…2,165 R3…2,231						
[事業目的] 県内事業者の魅力的な商品を発掘し、県内外への販路拡大を促進する。また、商品の展示・販売会を地域百貨店において開催することで、街なかの集客による賑わいづくりと県内消費の拡大を図る。												
[事業内容] (1) 県民から公募した商品の展示・販売会の開催 ・ 県内事業者の魅力的な商品について広く県民や関係団体から公募し、推薦商品を紹介する展示・販売会を西武福井店の6階催事場にて開催 ・ 展示・販売会では事業者が来場者に直接商品PRを実施 (2) 発掘した人気商品の県内外へのPR ・ 出展商品の販売会を西武福井店、県アンテナショップで実施 ・ 出展商品をオンラインストア「福井の口福」で販売 ・ デジタル技術を活用したPR(例:PR動画の作成、SNS・YouTube広告、デジタルサイネージ等)を行い、北陸新幹線開業を見据え、県内だけでなく、県外客に対しても魅力を発信し、集客や販路拡大を図る												
[受益者] 県内事業者						[想定される受益者数] 約40社						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふるさと“逸品”フェスタ (実績) H22~26にふるさと“逸品”フェスタを開催。平均で1,412万円、来場者57,372人、出展事業者数44社。H25に初出展した3社が催事後継続して西武と取引を開始。H26に伝統工芸品の職人による「七人の侍」が初めて西武でオリジナル商品の展示販売を実施。その後、西武の常設売り場にて商品の販売を開始。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

“ふくいのっておき”フードフェア開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男			
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	H27 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	委託			経過年数								10 年		
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		12,500	11,250	9,097	8,187									
2月現計予算額の推移		12,500	11,250	9,097	8,187									
決算額の推移		12,500	11,250	9,097										
前年度までの 主な増減理由	広報費の効率化等必要経費の見直しによる減額													
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	展示・販売会売上（千円）	(16,000)	(16,000)	(16,000)	(19,800)		(19,800)	(19,800)	過去3年間の実績平均（19,800千円）以上					
	(目標) 実績	21,177	19,446	18,584										
活動指標	出展者数	(70)	(70)	(70)	(70)		(70)	(70)	会場に出店できる最大数					
	(目標) 実績	41	34	37	46									
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
令和4年度 開催期間中の販売会の売上 18,584千円 前年同期比 95.6% ・令和5年度 2月23日～28日実施								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	8,187			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

恐竜といえば福井「ダイノデパートin西武福井」開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 駅前再開発中の駅前のにぎわい創出						[問題・課題を表す客観的データ] 福井市中心市街地(中央一丁目)店舗数 H22:389 H28:337 R3:280 R4:259 西武福井店の来店者数(単位:千人) H30...2,854 R1...2,729 R2...2,165 R3...2,231						
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、本県のキラーコンテンツ“恐竜”を活用し、JR福井駅周辺の地域百貨店で触れ、関連グッズを購入することができるイベントを開催することにより、街なかの集客による賑わいづくりと県内消費の拡大を図る。												
[事業内容] (1) 恐竜骨格化石等の展示 ・西武福井店の店内に恐竜骨格化石や恐竜バルーン等を設置 (2) 映像や音響を使った店内装飾やまちなかの一体感を創出する仕組みを充実 ・化石等の展示のほかに迫力ある映像や音響(館内放送等)を活用し、来場者が一層楽しめるようにするとともに、駅前の一体感や賑わいの創出につながるようダイノデパートに来た方に対してノベルティ等を配布(恐竜マスクやショッパーなど) (3) 恐竜博物館研究員によるワークショップの開催 ・恐竜博物館研究員が展示されている骨格の説明やクイズを実施 (4) 動く恐竜体験ライブの開催 ・動く恐竜体験ライブ「DINO-A-LIVE」をグリーティング形式で開催(屋上広場:土日×2回) (5) 恐竜グッズの販売 ・県内企業の恐竜グッズ恐竜博物館オリジナル商品等の販売(6階催事場:土日×2回) (6) 恐竜クイズラリーの実施 ・各階にクイズポイントを設置し買い回りを促進。回答者には抽選で恐竜グッズや買物券を贈呈(西武、ハピリン、柴田神社) (7) 駐車料金の割引												
[受益者] 西武福井店、福井駅前の商店等						[想定される受益者数] 約200店舗						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	福井市 まちいろストリート					他県の状況						

恐竜といえば福井「ダイノデパートin西武福井」開催事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男						
事業主体		県				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	■ 実行予算		事業 開 始 年 度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法		委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率		-															
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額																	
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移				55,000	46,087	41,478											
2月現計予算額の推移				53,000	46,087	41,478											
決算額の推移				53,000	46,087												
前年度までの 主な増減理由		広報費の効率化等必要経費の見直しによる減額															
[成果指標等の推移]																	
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	西武福井店来店者数 (期間中の1日平均)	(目標) 実績		(4,700) 7,424	(4,700) 5,576	(4,700) 5,900		(4,700)	(4,700)	コロナ禍前の来店者数(1日平均)の同数を維持(約4,700人)							
活動指標	開催期間	(目標) 実績		(33) 33	(21) 26	(21) 26		(21)	(21)	ダイノデパート開催日数							
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価									
期間中の西武来店者数 153,400人 前年同期比103.5% 開催期間中の西武売上 前年同期比98.7% ・後半の恐竜グッズおよび中部縦貫自動車道開通記念として沿線市町の特産品を集めた物産展により、来店者数を伸ばすことができたが、客単価が上がらず、売上にはつながらなかった。								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額						
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	41,478						
								□ 整理統合	■ 廃止	□ その他							

新幹線開業に向けた新たなF-TRAD商品開発支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	2/3											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] ・ブランド価値の向上に向け、F-TRADの商品ラインナップを拡充 ・新幹線開業に向けて伝統工芸品の技術を活用した手頃な価格帯のお土産品の開発						[問題・課題を表す客観的データ] 有名人を起用した話題作りにより販路拡大を狙ったが売上が伸びなかった(のんさんコラボの売上300万円)						
[事業目的] 公募によりF-TRADの商品ラインナップを拡充するとともに、新幹線開業に向けて伝統工芸品の技術を活用した手頃な価格帯のお土産品の商品ラインナップを充実させるため、商品開発を支援するとともに観光客が手軽に購入できるECサイトを立ち上げ、商品の販売も行う。												
[事業内容] ①F-TRADラインナップ拡充 F-TRADのコンセプト(現代のライフスタイルに合わせた形で伝統工芸品をアップデート)に合う商品を公募し、県内メンバーで構成された検討委員会でF-TRADラインナップに加える商品を選出 ②新幹線開業に向けたお土産品開発支援 本県には手ごろな価格のお土産品が少ないため、一般的な土産品の価格帯(2,000~3,000円程度)で販売を目指す商品開発を支援 ③ECサイト等を活用した販売拡大 EC販売環境を整備し、動画を活用した製品の特徴などの紹介や製品のコーディネートを提案 拡充したF-TRAD商品を販売 デジタルパンフレット等販促ツールを作成 知名度向上のため雑誌等のメディアに掲載												
[受益者] 伝統工芸企業						[想定される受益者数] 400社以上						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・市町民や県外訪問者等に対する事業PR ・市町や伝統工芸組合が参加する協議会において関連事業を実施					他県の状況						

新幹線開業に向けた新たなF-TRAD商品開発支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男				
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R4 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度	
事業実施方法	直営、補助											経過年数			2 年
補助率	2/3														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額															
[予算額の推移等]												(単位：千円)			
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				16,187	15,537										
2月現計予算額の推移				15,075	1,892										
決算額の推移				13,357											
前年度までの主な増減理由	令和5年度 事業内容見直しによる減														
[成果指標等の推移]															
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	「F-TRAD」販売額 (千円)	(目標) 実績	(5,000) 1,261	(8,000) 1,399	(12,000)				1商品につき平均200千円×下記商品数						
活動指標	「F-TRAD」商品数 (累計)	(目標) 実績	(25) 24	(40) 49	(60)				R2：10品（新幹線開業課事業による） R3：上記10品+R3新規製作15品 R4：R3分15品+10品（補助金支援分）+15品（公募分） 中間・最終目標：R3分15品+20品（補助金支援分）+25品（公募分）						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価							
県産品の商品開発・291によるセレクト事業によるF-TRADブランド商品開発支援 8件				「県産品の商品開発・291によるセレクト事業」に統合				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	15,537				
								<input checked="" type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

伝統工芸品活用支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男	
事業主体	事業者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2以内											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [III 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[ふくいNEW経済ビジョン]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業に向けた伝統工芸品の認知度向上 ・工芸品需要の拡大 						工芸産地の年間生産額 対前年度比▲5.2%(2年度) 産地組合調べ(7産地計)						
[事業目的]												
北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、県内外の宿泊施設や飲食店における伝統工芸品の活用を促進し、本県伝統工芸品の魅力発信および需要拡大を図る。												
[事業内容]												
県内外の宿泊施設や飲食店等における伝統的工芸品の活用に必要な経費の一部を補助する。 (1) 補助対象者 観光客などが多数利用する県内外の宿泊施設、飲食店等 (2) 補助対象経費 ①福井県の伝統的工芸品の技術を活かした内外装材の導入に必要な経費 補助率：1/2以内 補助上限額：150万円 ②施設・店舗内の食器等の伝統的工芸品を活用し、PRする場合の工芸品導入に必要な経費 補助率：1/2以内 補助上限額：150万円												
[受益者] 本県伝統工芸品を活用する宿泊施設・飲食店等						[想定される受益者数] 28事業者						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 住宅への伝産品利用促進事業 (役割分担) 個人住宅に越前瓦・越前和紙を導入する場合は上記事業を活用し、宿泊施設等に伝統工芸品を活用する場合は、本事業により支援を行い、従来の枠を超えた新しい分野での工芸品の需要拡大を図る。					
市町との連携状況						他県の状況						

伝統工芸品活用支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男						
事業主体		事業者				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度		
事業実施方法		補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率		1/2以内															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額																	
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移			12,000	22,000	20,000												
2月現計予算額の推移			5,903	43,700	20,000												
決算額の推移			5,903	38,970													
前年度までの 主な増減理由		令和3年度～4年度にかけて、事業拡充のため増額															
[成果指標等の推移]																	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	伝統工芸品導入施設数 (件)	(目標)	(27)	(27)	(27)		(81)	(81)	毎年27件程度採択×3年間								
		実績	6	51	36		93	93									
活動指標	伝統工芸品導入金額 (千円)	(目標)	(81,000)	(81,000)	(36,000)		(198,000)	(198,000)	(R3～R4)27件×3,000千円/件 (R5)12件×3,000千円/件								
		実績	11,806	80,904	38,772		131,482	131,482									
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価									
採択件数(令和4年度) 51件 (令和5年度) 35件 飲食店等におけるアフターコロナを見据えた伝統工芸品導入の需要を活かし、補助制度活用を呼び掛けたところ、導入施設数は目標を大きく達成することができ、伝統工芸品の導入金額についてもおおむね目標を達成することができた。								□ 拡充		□ 縮減		□ 終期の見直し		見直し額			
								□ 継続		□ 休止		□ 完了		20,000			
								□ 整理統合		■ 廃止		□ その他					

サンドーム福井 イベントホール設備更新

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課		課長名	荒木 一男	
事業主体		県			事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法		直営								経過年数			1 年
補助率													
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [II 成長を創る (産業力)] 政策 [6 地域経済のイノベーション]			関連する県の計画等		[ふくいNEW経済ビジョン]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
・サンドーム福井のイベントホールの設備が老朽化により、不具合が生じており、イベント主催者等からクレームを受けている。						—							
[事業目的]													
今後のイベント運営に支障を来さないように設備を更新													
[事業内容]													
イベントホール設備の更新													
①冷温水発生機（空調設備）の更新 経過年数 27年 ※全3台のうち、開催までに3台全てを更新することは工期的に不可能であるため、今回は1台を更新。 残り2台については今後検討することとしたい。													
②音響設備の更新 経過年数 27年													
③照明設備の更新（水銀灯からLED） 経過年数 27年													
[受益者] サンドーム福井イベントホール利用者						[想定される受益者数] 約25万人/年							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担			■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況							

サンドーム福井 イベントホール設備更新

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	産業労働部	課名	商業・市場開拓課	課長名	荒木 一男						
事業主体		県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度		
事業実施方法		直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額																	
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移					627,836												
2月現計予算額の推移					575,200												
決算額の推移																	
前年度までの 主な増減理由																	
[成果指標等の推移]																	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	(目標) 実績								施設修繕にかかる事業のため活動指標の設定は困難 今後のイベント運営に支障をきたさないように適正に事業を執行する								
活動指標	(目標) 実績								施設修繕にかかる事業のため活動指標の設定は困難 今後のイベント運営に支障をきたさないように適正に事業を執行する								
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価									
-								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額						
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	627,836						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他							